市民がまちの魅力を発信
まちかど特派員レポート

見せろ！若者の底力!!
～大府駅前若者イベント始動～

今月のレポーター
北岡 紀代美
至学館大学健康科学部こども健康教育学科４年生。市主催の、若者や子ども向けのイベントに参加した経験を楽しく紹介していきたいです。

大府駅前を盛り上げようと、市内の高校や大学に通う学生、市内在住の社会人など、市にゆかりのある若者が中心となって企画するイベント、それが「おまえは大府の何者!?」、通称「大府者」です。この企画をサポートする市の担当職員からは「このイベントは、一昨年に市が開催した大府の魅力について話し合う講座の中で挙げられた駅前活性化という課題を解決する目的でスタートしました。若者同士が力を合わせ、駅前で行う大きなイベントの運営をする中で、メンバーに「大府と自分」の関係について考え、地元愛を再認識してもらおうという狙いがあります」と熱い思いを語っていただきました。

▲向畑公園で行われた商業イベント「楽市楽座」で勧誘活動を行う大府者メンバー（写真右）

気になる企画内容ですが、今のところ、用意された障害物や課題をクリアしていく人気のテレビ番組を模したアトラクション、ペイントボールを投げ合いながら相手の陣地の旗を奪い合うゲームなど、若者が本気でぶつかり合うものから、市の特産品を使ったハンバーグのコンテストやダンス、スタンプラリーなど、誰もが気軽に見て参加できるものまでさまざまです。今は、それらのイベントをどうすれば実現できるか、知恵を絞りながら考えています。

４月13日には第１回実行委員会が行われ、企画内容の再確認や課題の検討などが行われました。すでに周りの大学などにイベント参加を呼び掛けたり、企画の課題について相談するメンバーの姿もあり、絶対に成功させるぞという強い意気込みを感じました。

会議では、運営スタッフの確保、資金の調達などが課題に挙げられました。運営スタッフの確保については学生に時間ができる夏休みまでに力を入れて行っていくという話が出ていました。そのため、４月27日は至学館大学で、学生の勧誘を実施。流行のお笑いネタを披露し、注目を集めたところに、大きなスクリーンで写真を見せながら「駅前でフラッシュモブ」「駅前でよさこい」など具体的なイメージを挙げ、大きなイベントに関わる魅力を伝えていました。

４月29日には、向畑公園で行われた商業イベント「楽市楽座」で、企画イラストを描いたパネルを作り、若者の勧誘だけでなく、多くの人にイベントのことを周知していました。活動の結果、なんと10人以上の学生などからスタッフの応募があったそうです。この「大府者」の実行委員長を務める清水栄有さんは「今の若者の底力に、来客者がアッと驚くようなイベントにしていきます。そのためにも、元気な方、自分の新たな可能性を見つけたい方、みんなで一緒に大きなものを作り上げたい方に運営スタッフとして参加してもらいたいです」と力強く話してくれました。

しかし、課題にも挙げられていた資金の調達については、まだまだ集まっていないのが現状で、このままでは思い描いた企画を実現できない可能性もあるそうです。今後メンバーで市内の商店などに足を運び、協賛のお願いをするのですが、彼らの挑戦が成功するよう、後押しする人が一人でも増えると良いなと思いました。

現在、運営スタッフ・協賛企業を募集中の大府者。あなたも熱いメンバーと一緒に大府を盛り上げてみませんか。

大府の元気な若者を紹介
New Face! OBU

出会った景色やまち並みをいつまでも残したい

大嶋 啓介さん（横根町・26歳）

田舎の自然豊かな道やまちを愛車で走ることが趣味の大嶋さん。「旅先で見る景色やまち並み、出会った人との会話が魅力です」とドライブの楽しみを話します。少しでもその地域の活力につながればと、旅先では、その地の温泉に浸かったり、食事処で食事をしたり、買い物をしたりすると言う大嶋さん。「出会ったすてきな景色やまちの姿がいつまでも残ってほしいです」と笑顔を見せます。

◆大府の思い出の場所　みどり公園
◆趣味　ＤＶＤ鑑賞（仮面ライダーや戦隊ヒーローものが好き）

みんなに
ごあいさつ

松浦 和之助さん

平成29年１月14日生まれ
進之助さん（父）　早織さん（母）

はじめまして、ぼく和之助。モチモチほっぺとムチムチの足が自慢だよ♡　絵本が大好き♪　じぃじ、ばぁば、おおじぃじとお話しするのもだーい好き♪　これからもたくさんお話ししようね♡　カンカン！

問 広報広聴課　☎(45)6214

いきいき
シルバーライフ

浜島 稔さん（北崎町・74歳）

北崎の老人会でカラオケ同好会に所属する浜島さん。「２カ月に１回新曲を覚えます。メロディを覚えたり、腹から声を出すので、認知症予防につながっていると思います」とカラオケの良さを感じています。会に集まる皆さんとの会話からも元気をもらっているという浜島さん。「健康維持のためにいつまでも続けていきたい」と目標を話します。

▲同好会のメンバーとカラオケを披露する浜島さん（写真中央）。

Q&A

Q 元気の秘訣は？
A 神田地区の仲間と集まって、お酒を飲むこと。お酒の席では、政治や趣味、スポーツなどいろいろなことを話します。ストレスの解消にはとても合っていると思います。

Q 楽しみは？
A 旅行に行くことです。老人会のメンバーや昔からの知人などと毎年10回ほど行きます。見るには、日光などの山が、食べるには、日間賀島などの海が好きです。

認めあおう！ 自分らしさ

青少年女性課　☎(45)6219

お弁当から生まれた疑問

オーストラリアから来日して9年目になる女性は、職場の食堂のランチを食べていると「お弁当を作らないの？」と聞かれました。彼女は「なぜ、そんなことを聞くのだろう？」と不思議に思い、周りを見渡すとお弁当を持って来ている女性が確かに多いことに気付きました。彼女は「女性なのに料理もできないの」と言われた気がしたそうです。

彼女は、お弁当にまつわる別の場面でも違和感を覚えました。ある時、お弁当を自分で作っている男性がまわりの人から「すごいね」と褒められていたのです。オーストラリアでは男性も女性も同じように料理をすることから、彼女は料理をすることへの意識の違いを感じました。

私たちは生活の中で、無意識のうちに男性と女性の役割分担をしていることがあります。これは、日本のジェンダー・ギャップ指数（世界の国々の男女平等の割合を数値化した指標）が、諸外国に比べて低い（男女間で不平等がある）ことにも関係しています。

次回7月1日号では、そのジェンダー・ギャップ指数や諸外国での男女共同参画に関する先進事例を見ながら、男性だから女性だからではなく、一人の人間として、誰もが認められる社会にしていくためのヒントを探ります。

¥ 消費生活相談

商工労政課　☎(45)6227

ヘアドライヤーの取り扱いに注意！

■ヘアドライヤーの事故事例

- 吸い込み口から40～50本髪の毛が吸い込まれ、巻き込まれた髪の毛を外すことができず、はさみで切った。
- 電源コードの本体取り付け部分から突然火花が散り、やけどをした。

■事例に関するアドバイス

- ヘアドライヤーは身近な製品ですが、髪の毛が吸い込まれ、外れなくなったり、コードから発煙、発火したりする事故が報告されています。
- 標準型のヘアドライヤーには吸い込み口付近にファンが内蔵されています。ドライヤーを使用する際は、髪の毛を吸い込み口に近づけないようにしましょう。
- ヘアドライヤー本体にコードを巻きつけて保管すると、コードが曲がったり、ねじれたりして損傷し、発煙、発火などが起き、やけどをする可能性があります。本体にコードを巻きつけないようにしましょう。
- 基本的な使い方が分かっていても、購入時には取扱説明書をよく読み、注意事項などを正しく理解しましょう。

■消費者ホットライン　☎188
■市消費生活センター　☎(45)4538

編集雑記

編集者のひとりごと

皆さんはSNSをやっていますか？　14ページでも紹介しているように、このたび市公式Facebookを始めました。実は広報広聴課にFacebookを使いこなしている職員はいません。インターネットで操作方法を調べ、他自治体のSNSを研究し、試行錯誤しながら公開にこぎつけました。広報紙やホームページでは伝えきれない最新の情報をお届けしますので、ぜひ「いいね」してください。（太）

Ellen's Corner

日本にいる外国人の進路の不安

国際交流員／エレン・ウー

今回は、６年前にブラジルから来日した佐野シルビアさんと、その息子で現在高校２年生の敬一さん親子に、高校進学のときの話を聞きました。

来日当初、敬一さんは日本語の読み書きができませんでした。日本の高校に進学して勉強についていけるか心配だった敬一さんは、外国籍の子どものための塾や日本語教室などに参加することで乗り越えました。また、シルビアさんは、敬一さんの進学説明会に参加したときに、無料だと思っていた公立高校でもお金がかかることを初めて知りました。シルビアさんはそこから貯金の必要性を考え、準備を始めました。日本人にとって当たり前と思えることでも、外国人には分からないことが多くあり、誰かの力を借りなければなりません。

６月24日㈯に市役所で、外国籍中学生とその保護者のための進路説明会が開かれます。周りで進学のことで悩む外国人がいたらぜひ会のことを教えてあげてください。

▲昨年の進路説明会の様子

※進路説明会の詳細は、電話で地域文化ネット「ＷＫＹ」北井（☎090（9120）5980）へ。

料金受取人払郵便

大府郵便局
承　認
688

差出有効期間
平成30年４月30日まで
（切手を貼らずにお出しください）

郵便はがき

4 7 4 − 8 7 9 0

〈受取人〉
大府市役所
広報広聴課　行

広報おおぶ「みんなの声」専用はがき

年齢／　　歳　　性別／　男・女

広報おおぶの今後の編集や企画に生かしていきたいと思っています。ご意見をお聞かせください。

問　広報広聴課　☎(45)6214

「みんなの声」使い方

1. 広報紙から切り取ってください。
2. アンケート欄に記入してください。
3. 半分に折り内側全面をのり付けしてください。
4. ポストに投函してください。

やまおり

Q１ 今回の広報おおぶで、文字・色・構成などについて、見やすいと思った記事、見にくいと思った記事とその理由をお聞かせください。（下表の番号を記入してください。複数回答可）

見やすい（　　）　見にくい（　　）

理由

Q２ 今回の広報おおぶで、「面白い・役に立った」と思った記事とその理由をお聞かせください。（下表の番号を記入してください。複数回答可）

面白い・役に立った（　　）

理由

Q３ 今後取り上げてほしい企画や広報おおぶへのご意見・ご要望をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。　1123

【この号の内容】①輝く大府人　②特集「お母さん、一人でがんばりすぎないで」　③平成30年度採用大府市職員採用　④市政news　⑤情報パック　⑥まちかど特派員レポート　⑦みんなにごあいさつ　⑧New Face! OBU　⑨いきいきシルバーライフ　⑩認めあおう！　自分らしさ　⑪消費生活相談　⑫Ellen's Corner　⑬シビックガーデンコンテスト入賞者を発表します　⑭その他

破線に沿って切りとり、半分に折り、内側全面をのり付けして投函してください。